

主要事務事業戦略シート

平成30年度
病院局
事業管理者 齋藤 康

局・区の使命	市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。健全な病院経営を確立し、市立病院を持続発展させる。
事業選択・重点化・見直しの考え方	公立病院として政策的医療等を提供する役割を積極的に担っていくとともに、安定的な経営基盤を確立するため、収益向上やコスト削減に取り組んでいく。

施策		2-1-2	医療体制の充実										
No.	新規	事務事業(業務)名	事務事業(業務)概要		現状分析			課題抽出		今後の方向性		所管課	
			目標(目的) 【(事務事業(業務)を行い誰(何)が、どのような状態になることを目指すのか】	主な内容 【サービス等の提供内容や提供先】	事務事業(業務)に必要な行政資源	コスト換算 (単位:百万円)	行政コストの合計額 (単位:百万円)	主な実績・効果 【利用者数・件数等】	分析・評価 【現在どのような状態で、どのような課題があるのか】	改善・改革の手法	今後の方向性		
1		病院運営	市民が必要とする安全・安心な医療を一人でも多くの市民に提供する。	診療、入院サービスの提供	ヒト	H30職員数 1,103人 医師 145人 医療技術員 176人 看護職員 693人 行政職 94人 技能労務職 5人	11,239	22,740	【H29年度】 ①延患者数 青葉病院 入院 105,160人 外来 210,147人 海浜病院 入院 67,274人 外来 138,622人 ②収支状況(税込) 医業収支 △5,539百万円 純損益 △1,161百万円	経営基盤の安定化が大きな課題となっている。平成29年度決算では、累積赤字が81億円、補てん財源不足が16億円にのぼったほか、資金不足比率も前年度の0.1%から0.9%と拡大している。 一方で、効率性のみを追求することなく、政策的医療等を提供する役割を積極的に担っていく必要があり、病院事業のあり方を市長部局を含めた広い視野で検討していく必要がある。	⑧ その他	市民に求められる医療を提供し、紹介患者数の増などにより医業収益を増加させるとともに、費用を抑制し、医業収支を改善する。	経営企画課
					モノ	市立青葉病院 市立海浜病院	2,196	<参考> 前年度決算額			⑧ その他	【あり方検討】 将来的な医療ニーズを踏まえ、市立病院が担うべき医療機能に加え、病床規模や経営形態など、病院経営の効率化という視点も含めて検討していく。	
					他都市等の状況								
					カネ	H30歳出予算額 収益的支出 22,740百万円 資本的支出 2,972百万円	9,305	H29歳出決算額(税込) 収益的支出 21,502百万円 資本的支出 3,089百万円	②収支状況(税込) 医業収支 △5,372百万円 純損益 △2,113百万円				